

内部評価結果調書（施策評価 5）

施策名	地域コミュニティの強化
-----	-------------

担当部局	担当部局長の氏名
市民部	石嶋政博

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	V パートナースhip都市		
計画項目	(施策)	① 地域コミュニティの強化		
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	地域住民が助け合う自治の心の希薄化による地域の連帯感が弱まる一方で住環境整備や防災、防犯など個人の力では解決できない問題が増えている。改めて「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持って住民による連帯感や協働により、集落を単位とした活動展開の契機につなげて地域づくりの充実を図ることが必要である		
めざす目標	指標名	総合計画策定時 (H17)	前期基本計画 最終実績値	目標
	ともに歩めるまちづくりをめざします	地域まちづくり計画の策定件数	0件 H17	1件 H21
※参考 後期基本計画	指標名	総合計画策定時 (H17)	後期基本計画 策定時	目標
	めざす目標	ともに歩めるまちづくりをめざします	0件 H17	0件 H20

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、一般財源 (千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 地域自治活動への支援	1 自治組織活動支援事業	126,842	36,842	○	○	維持	維持	協働
	自治会活動の活性化支援、市と地域の協働推進ため、各区長連連絡協議会等に対し交付金を交付							
	2 自治宝くじコミュニティ助成金	12,500	0	○	○	維持	維持	協働
	地域コミュニティ組織を対象に、祭用備品整備、コミュニティ施設整備にかかる費用を助成							
	3 市民協働のまちづくり事業補助金	17,623	10,123	○	○	維持	維持	協働
	地区や地域住民で組織する団体を対象に、地区所有施設整備事業、村おこし・地域づくり事業等への支援							
	4 地域まちづくり支援事業補助金	315	315	▲	○	維持	拡大	協働
地域の目指す方針等を示した地域まちづくり計画を策定しようとする地区等に対し、計画策定のための支援								
5 集会施設整備管理事業	33,898	21,198	○	○	維持	維持	協働	
地区が行う集会施設の新築・修繕等事業経費に対する補助。市所有集会施設の火災保険料を負担								
6 指定管理施設運営事業	14,258	14,258	○	○	維持	維持	協働	
集会施設の適切な管理運営を実施								
7 小規模集落支援事業	408	408	○	○	維持	拡大	協働	
小規模集落を対象に、集落外の人材を「水と緑の里づくり支援員」として配置し、集落の運営をサポート								
計		205,844	83,144					

CHECK

評価	① 施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	理由	めざす目標で、「地域まちづくり計画の策定件数」を30件としているが、現時点で、平成21年度に1集落で計画策定が完了し、2集落で計画策定に向けた調査活動が開始されたという状況である。 ただ、それ以外の地域においても、地域まちづくり計画の必要性が徐々に地域に浸透してきており計画策定への意欲も高まりつつある。希望される地区等に対しては、計画策定にあたって必要な情報や資料提供などの協力や市職員をオブザーバーとして派遣している。
理由	② 事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか	
	地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化を図ることができた。また、地域振興対策事業補助金により、地区又は地域住民が行なう集会施設等整備事業、地区所有の施設整備事業、村おこし・地域づくり事業などの事業実施を下支えすることができた。	

③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業6)			
優先度 高い	事務事業		理由
	4	地域まちづくり支援事業補助金	まちづくり計画の策定に対する経費補助は地域がまちづくりに取組み契機となるものであり、今後は内容検討などにより充実も必要
	3	市民協働のまちづくり事業補助金	集落・住民団体への活動補助は取り組みの契機となるものであり、支援事業としての充実が必要
優先度 低い	事務事業		理由
	2	自治宝くじコミュニティ助成金	自治総合センターの補助要綱等の変更により対象事業が徐々に限られている
	5	集会施設整備管理事業	施設の修繕要望に基づくものであり、財政上の観点から検討の余地がある



## ACTION

今後の施策展開をどうするか	
改善	<p>集落・地域に様々な活動団体や組織が立ち上がり、それぞれの団体が連携することで地域づくりやまちづくりを進められる。また、こうした団体や組織づくりの支援のための制度的な環境整備を図っていくとともに、地域支援に関わる部署の連携を強化して、効率的・効果的な地域支援を一層進める。</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	01	01
細事業名		自治組織活動支援事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	荻野 正樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の実現に向け、その基盤となる地域自治活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市からの依頼事務の円滑な実施 (市広報紙等の配布、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域要望のとりまとめ等)、市と地域の協働の推進。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各区長連連絡協議会等に対し、自治会活動の活性化支援及び市と地域の協働を推進するための交付金(地域振興交付金 123,721千円)を交付するとともに、各区長連連絡協議会等の運営補助(協議会運営事業交付金 3,000千円)を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市からの依頼事務の円滑な実施 (市広報紙等の配布、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域要望のとりまとめ等)、市と地域の協働の推進。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	103	財源内訳	国庫支出金	
	13	12		府支出金	
	14	6		起債	
	19	126,721		分担金・負担金	
			その他	地域振興基金繰入金	90,000
			一般財源		36,842
事業費合計		126,842	合計		126,842

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化に貢献した。また、市からの依頼事務(市広報紙の配布、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域要望のとりまとめ等)がほぼ円滑に実施されていることに大きく寄与している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化に貢献した。また、市からの依頼事務(市広報紙の配布、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域要望のとりまとめ等)がほぼ円滑に実施されていることに大きく寄与している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化に貢献した。また、市からの依頼事務(市広報紙の配布、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域要望のとりまとめ等)がほぼ円滑に実施されていることに大きく寄与している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を、より一層促す必要性がある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を、より一層促す必要性がある。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を、より一層促す必要性がある。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域コミュニティの強化を図り、行政との協働を推進することは、今後、益々重要となる方向にある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	地域コミュニティの強化を図り、行政との協働を推進することは、今後、益々重要となる方向にある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	地域コミュニティの強化を図り、行政との協働を推進することは、今後、益々重要となる方向にある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を促す必要性から、現状維持とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を促す必要性から、現状維持とする。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を促す必要性から、現状維持とする。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	01	02
細事業名		自治宝くじコミュニティ助成金				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	吉田 茂喜

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対し支援を行い、地域の健全な発展および自治の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業採択件数を毎年6件とする。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域コミュニティ組織を対象に、祭用備品整備、コミュニティ施設備品整備の支援を行った。(溝谷区:祭用備品整備、赤坂区:コミュニティ施設備品整備、谷内区:祭用備品整備、徳光区:祭用備品整備、網野連合区:祭用備品整備)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 5地区において、祭用備品又はコミュニティ施設備品の整備ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	12,500	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	諸収入	12,500
			一般財源		0
事業費合計		12,500	合計		12,500

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 地域コミュニティにおいて要望のあった備品整備に対する支援ができた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 地域コミュニティにおいて要望のあった備品整備に対する支援ができた。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 地域コミュニティにおいて要望のあった備品整備に対する支援ができた。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 自治宝くじコミュニティ助成金を活用して、多くの地区要望に応えられる事業であるため。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 自治宝くじコミュニティ助成金を活用して、多くの地区要望に応えられる事業であるため。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 自治宝くじコミュニティ助成金を活用して、多くの地区要望に応えられる事業であるため。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業実施要領に基づき、事業を継続する。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業実施要領に基づき、事業を継続する。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由 財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業実施要領に基づき、事業を継続する。					
A	B 内容の見直し						
A	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 財団法人自治総合センターの方針による。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 財団法人自治総合センターの方針による。	B	B 現状維持	B
B	A 事業拡大	理由 財団法人自治総合センターの方針による。					
B	B 現状維持						
B	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	02
細事業名		市民協働のまちづくり事業補助金				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	吉田 茂喜

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地区等の要望に対し、迅速かつ柔軟に対応し、地域の健全な発展および自治の振興を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 迅速かつ確実に地区等の要望に対応し、自治の振興を図る。(申請受付後2週間以内の交付決定を100%とする)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地区や地域住民で組織する団体に対し、地区所有施設整備事業、村おこし・地域づくり事業、緊急を要する事業等への支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 149件の事業に対する支援を行うことで、地域の健全な発展および自治の振興に資することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	17,623	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 7,500
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	10,123
事業費合計		17,623	合計	17,623

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">交付決定事務の迅速化に努め、多くの事業に対する支援を行うことができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	交付決定事務の迅速化に努め、多くの事業に対する支援を行うことができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	交付決定事務の迅速化に努め、多くの事業に対する支援を行うことができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地区等からの要望は多大であり、これに対応するためには削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地区等からの要望は多大であり、これに対応するためには削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地区等からの要望は多大であり、これに対応するためには削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">迅速・柔軟に活用できる補助制度であるため、今後も継続すべきである。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	迅速・柔軟に活用できる補助制度であるため、今後も継続すべきである。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	迅速・柔軟に活用できる補助制度であるため、今後も継続すべきである。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地区等からのニーズも多く、現状のまま継続すべきである。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	地区等からのニーズも多く、現状のまま継続すべきである。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	地区等からのニーズも多く、現状のまま継続すべきである。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	03
細事業名		地域まちづくり支援事業補助金				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	吉田 茂喜

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民が主体的に自らの手で地域を創造する取り組みを支援し、地域の健全な発展および自治の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 自立した地域づくりを推進する地区等の増加。(地域まちづくり計画の策定:30件)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域の目指す目的、方針、施策、実施方法等を示した地域まちづくり計画を策定しようとする地区等に対し、計画策定のための支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 1地区において、地域まちづくり計画が策定され、住民自らの手によるまちづくりが始動した。また、2地区において、計画策定のための調査が始まり、次年度に計画策定を行う予定となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	315	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		315
事業費合計		315	合計		315

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">1地区で地域まちづくり計画が策定され、2地区において計画策定の調査事業が着手された。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	1地区で地域まちづくり計画が策定され、2地区において計画策定の調査事業が着手された。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	1地区で地域まちづくり計画が策定され、2地区において計画策定の調査事業が着手された。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域まちづくり計画の策定に意欲的な地区等が想定よりも多かったため、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地域まちづくり計画の策定に意欲的な地区等が想定よりも多かったため、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地域まちづくり計画の策定に意欲的な地区等が想定よりも多かったため、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	地域まちづくり計画の必要性が徐々に地域へ浸透してきており、計画策定への意欲も高まりつつあるため、事業を継続すべきである。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	地域まちづくり計画の策定件数の目標を達成するためには、今後更なる支援が必要である。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	06	01
細事業名		集会施設整備管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	吉田 茂喜

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域コミュニティ活動の拠点となる集会施設の整備等に対し支援を行い、地域の健全な発展および自治の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民自らが集会施設の管理を行うことで施設の利便性を高め、コミュニティ活動の活性化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地区が行う集会施設の新築・修繕等事業経費に対し、補助金を交付し、支援を行った。また、市所有集会施設の火災保険料を負担した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 1件の新築事業、11件の修繕等事業に対し補助金を交付することで、コミュニティ活動の拠点整備が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	12	226	国庫支出金	
	19	33,672	府支出金	未来づくり交付金 12,700
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	21,198
事業費合計		33,898	合計	33,898

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 集会施設の新築・修繕等へ支援を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 集会施設の新築・修繕等へ支援を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 集会施設の新築・修繕等へ支援を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図られた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 集会施設の老朽化等により、地区からの修繕等の要望が多く、コスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 集会施設の老朽化等により、地区からの修繕等の要望が多く、コスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 集会施設の老朽化等により、地区からの修繕等の要望が多く、コスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 多くの地区所有施設が老朽化していることもあり、現状どおり事業継続すべきである。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 多くの地区所有施設が老朽化していることもあり、現状どおり事業継続すべきである。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 多くの地区所有施設が老朽化していることもあり、現状どおり事業継続すべきである。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 下水道接続時期等の事情により、年度によって事業規模が変動することもあるが、概ね現状を維持すべきものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 下水道接続時期等の事情により、年度によって事業規模が変動することもあるが、概ね現状を維持すべきものとする。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 下水道接続時期等の事情により、年度によって事業規模が変動することもあるが、概ね現状を維持すべきものとする。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	09	01
細事業名		指定管理施設運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民協働課
担当課長の氏名	山副 隆司
担当者の氏名	山下 琢

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域コミュニティ活動を推進する拠点となる集会施設のうち、指定管理施設として地元区に管理を委託している集会施設の管理運営を適切に行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 地域コミュニティ活動の活性化。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地元区に管理運営を委託している集会施設及び地元区を対象に、施設の適切な管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市有の集会施設の適切な維持管理。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	305	財源内訳	国庫支出金	
	12	734		府支出金	
	13	13,219		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	14,258	
事業費合計		14,258	合計		14,258

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 市有の集会施設の適切な維持管理ができている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 市有の集会施設の適切な維持管理ができている。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 市有の集会施設の適切な維持管理ができている。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 住民サービスの向上、行政コストの削減を目的とした指定管理者制度を導入し、各地域の自治組織に管理運営を委託しており、コスト削減の余地は低いと考える。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 住民サービスの向上、行政コストの削減を目的とした指定管理者制度を導入し、各地域の自治組織に管理運営を委託しており、コスト削減の余地は低いと考える。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 住民サービスの向上、行政コストの削減を目的とした指定管理者制度を導入し、各地域の自治組織に管理運営を委託しており、コスト削減の余地は低いと考える。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
23-7

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 02	項 01	目 10	事業 10	細事業 01
細事業名	小規模集落支援事業					

担当部局 市民部	担当課長の氏名 山副 隆司
担当課等 市民協働課	担当者の氏名 荻野 正樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ① 地域コミュニティの強化 施策方針 1 地域自治活動への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 人口減少や高齢化等により著しく自治機能が低下しつつある小規模高齢化集落において、自治機能を維持するとともに、そこに暮らす住民の活力を取り戻し地域の発展に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 小規模集落の集落機能を維持するとともに地域の発展を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 65歳以上の住民が半数以上で、かつ、10戸未満の集落を対象に、集落外の人材を「水と緑の里づくり支援員」として配置し、対象集落の状況を把握するとともに、集落の運営をサポートする活動を実施。(6集落に支援員4人を配置)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 丹後町上山、弥栄町須川、弥栄町中山、弥栄町大谷、弥栄町来見谷、久美浜町奥山の6集落に4人の支援員を配置し、集落支援活動を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	374	財源内訳	国庫支出金	
	9	34		府支出金	
		起債			
		分担金・負担金			
		その他			
				一般財源	408
事業費合計		408		合計	

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 集落運営をサポートする活動により、集落機能の維持及び地域の発展に貢献した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 集落運営をサポートする活動により、集落機能の維持及び地域の発展に貢献した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 集落運営をサポートする活動により、集落機能の維持及び地域の発展に貢献した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 支援員設置地区を拡大する方向にある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 支援員設置地区を拡大する方向にある。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 支援員設置地区を拡大する方向にある。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 小規模集落への人的支援は、今後も進めていく必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 現在、対象となっていない地区からの強い要望もあり、対象集落を拡大する方向にある。
B 現状維持		
C 事業縮小		

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	
事 業 名	01 自治組織支援事業			決算書
細 事 業 名	01 自治組織活動支援事業			P.100
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
126,842千円	126,849千円	7千円	99.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化を図ることができた。

○地域振興交付金 123,721 千円

《算出式》＝20,000円(均等割)×地区数+5,400円(世帯割)×前年10月1日の世帯数

峰 山 町 域	37区	4,926世帯	27,340 千円
大 宮 町 域	16区	3,951世帯	21,655 千円
網 野 町 域	46区	5,298世帯	29,529 千円
丹 後 町 域	31区	2,442世帯	13,807 千円
弥 栄 町 域	24区	1,849世帯	10,465 千円
久 美 浜 町 域	71区	3,612世帯	20,925 千円
合 計	225区	22,078世帯	123,721 千円

○区長連絡協議会運営事業交付金 3,000 千円

《算出式》＝(3,000千円－400千円(市区長連絡協議会))÷前年10月1日世帯数

峰山町峰山地区区長会・峰山町区長協議会	580 千円
大宮町区長協議会	465 千円
網野町区長連絡協議会	624 千円
丹後町区長連絡協議会	288 千円
弥栄町区長連絡協議会	218 千円
久美浜町区長連絡協議会	425 千円
市区長連絡協議会	400 千円

○区長連絡協議会視察随同行旅費等 121 千円

**【事務事業評価】**

地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化に貢献した。

**【主な特定財源】**

繰入金 地域振興基金繰入金 90,000千円

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費
事 業 名	01 自治組織支援事業		
細 事 業 名	02 自治宝くじコミュニティ助成金		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
12,500千円	12,500千円	0千円	100.0%

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（一般コミュニティ助成事業）について、申請のあった各地区へ助成金の交付を行った。

○自治宝くじコミュニティ助成金 12,500 千円

助成地区及び事業	助 成 額	全体事業費
・ 峰山町赤坂区 コミュニティ施設備品整備	2,500 千円	(2,765千円)
・ 大宮町谷内区 祭用備品整備	2,500 千円	(4,350千円)
・ 網野町網野連合区 祭用備品整備	2,500 千円	(2,532千円)
・ 丹後町徳光区 祭用備品整備	2,500 千円	(3,005千円)
・ 弥栄町溝谷区 祭用備品整備	2,500 千円	(2,650千円)

**【事務事業評価】**

自治宝くじコミュニティ助成金を活用して、多くの地区要望に応えることができる事業であり、地域にとって大きな効果を上げることができた。

**【主な特定財源】**

諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金 12,500千円

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	
事 業 名	02 地域活性化事業			決算書
細 事 業 名	02 市民協働のまちづくり事業補助金			P.100
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
17,623千円	18,000千円	377千円	97.9%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地区等が実施する地区所有施設及び設備の整備事業、環境景観づくり・防犯防災・地域イベントなどの村おこし・地域づくり事業、府民運動継続事業、緊急を要する事業などを対象に、事業の実施経費の全部又は一部を助成し、地域の活性化を図った。

○市民協働のまちづくり事業補助金 17,623 千円

峰山市民局	39 件	2,943 千円
大宮市民局	20 件	3,029 千円
網野市民局	25 件	3,340 千円
丹後市民局	21 件	2,825 千円
弥栄市民局	19 件	2,007 千円
久美浜市民局	25 件	3,479 千円
合 計	149 件	17,623 千円

**【事務事業評価】**

地区等からのニーズも多く、各市民局のもとで迅速・柔軟に活用できる補助制度であり、有効である。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり交付金（市民協働のまちづくり事業） 7,500千円

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費
事 業 名	02 地域活性化事業		
細 事 業 名	03 地域まちづくり支援事業補助金		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
315千円	400千円	85千円	78.7 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域住民が自らの手で自分たちの住む地域の中長期的な「地域まちづくり計画」を策定する地域に対し、補助金を交付した。

○地域まちづくり支援事業補助金 315 千円

大 宮 町	河辺地域づくり計画策定委員会 (計画調査事業・計画策定事業)	200 千円
久美浜町	神野地区自治会 (計画調査事業)	100 千円
久美浜町	金 谷 区 (計画調査事業)	15 千円

**【事務事業評価】**

地域まちづくり計画の必要性が徐々に地域へ浸透してきており、計画策定への意欲も高まりつつあるため、取り組み集落への働きかけがより必要である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費
事 業 名	06 集会施設整備管理事業		
細 事 業 名	01 集会施設整備管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
33,898千円	33,966千円	68千円	99.7 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域の活動拠点となる集会施設の維持管理及び整備を行った。

○集会施設火災保険料 226 千円  
市所有施設の建物共済保険料（22施設）

○地域集会施設整備費補助金 33,672 千円

地域集会施設の新築及び修繕等事業を行う地区または指定管理者に対し、事業費の一部を助成

赤坂区集会施設新築事業（峰山町）	22,658 千円
峰山第2区公民館屋根修繕事業（峰山町）	969 千円
五箇地区基幹集落センター空調設備設置事業（峰山町）	649 千円
善王寺北公民館屋根修繕事業（大宮町）	994 千円
土居区公民館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	1,887 千円
仲町区公民館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	490 千円
西本町会館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	369 千円
栄町公民館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	574 千円
十楽公民館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	1,533 千円
新町会館下水道接続等修繕事業（久美浜町）	534 千円
郷区多目的倉庫整備事業（久美浜町）	1,965 千円
女布区公民館及び作業場水洗化事業（久美浜町）	1,050 千円

**【事務事業評価】**

地域集会施設の新築・修繕等への支援を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図られた。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり交付金（地域集会施設整備事業） 12,700千円

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費
事 業 名	09 集会施設等指定管理運営事業		
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
14,258千円	14,261千円	3千円	99.9 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域の活動拠点施設となる集会施設のうち、指定管理施設として地元区等に管理を委託している施設の維持管理を行った。

○修繕料（和田野集会施設外壁補修工事など）	305 千円
○集会施設火災保険料	734 千円
○指定管理委託料（16施設）	13,219 千円
五十河基幹集落センター指定管理委託料	500 千円
浜詰農業団地センター指定管理委託料	72 千円
島津勤労者と子どものセンター指定管理委託料	72 千円
小浜勤労者と子どものセンター指定管理委託料	72 千円
中津・田中集会施設指定管理委託料	75 千円
須川集会施設指定管理委託料	67 千円
野間基幹集落センター指定管理委託料	140 千円
野中集会施設指定管理委託料	79 千円
久美浜福祉センター指定管理委託料	1,724 千円
久美浜果樹センター指定管理委託料	1,281 千円
久美浜農業センター指定管理委託料	1,890 千円
久美浜婦人センター指定管理委託料	1,684 千円
久美浜林業センター指定管理委託料	1,211 千円
久美浜機業センター指定管理委託料	1,395 千円
久美浜健康センター指定管理委託料	1,416 千円
久美浜ぎょそんセンター指定管理委託料	1,541 千円

**【事務事業評価】**

市有の集会施設の適切な維持管理を行うことで、コミュニティ活動の拠点として、地域の活性化が図られた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

予 算 科 目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費
事 業 名	10 小規模集落支援事業		
細 事 業 名	01 小規模集落支援事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
408千円	409千円	1千円	99.7 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

小規模集落（65歳以上の住民が半数以上で、かつ、10戸未満の集落）を対象に、集落外の人材を「水と緑の里づくり支援員」として配置し、対象集落の状況を把握するとともに、集落運営のサポート活動を行った。

支援員報酬 374千円  
 支援員費用弁償 34千円

○報酬

基本月額15,000円、業務従事1日につき1,600円を加算

○支援員人数 4人

○活動期間 平成21年12月4日～平成22年3月31日

○活動地域

丹後町上山、弥栄町須川、弥栄町中山、弥栄町大谷、弥栄町来見谷、久美浜町奥山

○活動内容

- ・ 担当する集落の目配り、逐次の集落巡回及びその状況の把握
- ・ 非常時、緊急時等における関係機関との連絡、援助
- ・ 集落住民の意見集約
- ・ 担任する集落での話し合いの促進、将来に向けた集落ビジョンの作成支援
- ・ 集落住民が主体的に行う集落振興施策への協力など

**【事務事業評価】**

集落の運営を担う区長をサポートする活動により、集落機能の維持及び地域の発展に貢献した。

**【主な特定財源】**

事業所管課	市民部／市民協働課
-------	-----------

平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	地域コミュニティの強化		担当部局
			市民部
評価結果	<p><b>1 施策目的について</b></p> <p><b>2 施策の達成度について</b>  めざす目標に「地域まちづくり計画の策定件数」があるが、目標を30件と設定し、1件しか策定できていない。  （案1）計画策定に向けた事業展開を改善すべきである。  （案2）これは、計画策定の必要性がないためであると考えられ、別の目標を掲げるべきである。</p> <p><b>3 事業構成の有効性について</b>  行政から地域への給付的事業のみで構成されているが、集落が地域コミュニティの成功事例を学び合い、情報交換を行う機会を設けることが必要であり、このような事業を展開すべきである。</p> <p><b>4 事業の優先度について</b>  優先度が低い事業として上げている「自治宝くじコミュニティ助成金」については、集落にとって大きな経済的支援となっている。また、「集会施設管理整備事業」について、集会施設は災害時の避難場所として重要な拠点となるため、施設機能の維持に向け、必要に応じ支援すべきである。</p> <p><b>5 今後の施策展開について</b>  上記2～4の欄で示したこと及び次の点を踏まえ、今後の施策展開を図る必要がある。</p> <p>合併して広域な面積の自治体となり、行政の手が届きにくくなったことによって、地域コミュニティ活動の重要性が、今後ますます増してくると思われる。</p> <p>そうした中、地域コミュニティには、大きな集落と小さな集落があり、大きな集落は市や府の制度を利用し発展していく。一方で、小さな集落はそのような余力もないという状況がある。</p> <p>よって、集落への支援を効果的に行うため、支援する際の集落の単位・範囲について一定の再編等を考えるべきである。</p>		